

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

神は、実に、
そのひとり子をお与えになったほどに
世を愛された。

それは御子を信じる者が、
一人として滅びることなく、
永遠のいのちを持つためである

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

2:13-過越祭に

"さて、ユダヤ人の過越の祭りが近づき、イエスはエルサレムに上られた。"

ヨハネの福音書 2章13節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

4:54までが"ひとつの段落"

"イエスは再びガリラヤのカナに行かれた。イエスが水をぶどう酒にされた場所である。さてカペナウムに、ある王室の役人がいて、その息子が病気であった。" 4章46節

"イエスはユダヤを去ってガリラヤに来てから、これを第二のしるしとして行われた。" 4章54節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

父の家をきよめて復活を予言する

"細縄でむちを作って、羊も牛もみな宮から追い出し、両替人の金を散らして、その台を倒し、鳩を売っている者たちに言われた。「それをここから持って行け。あたしの父の家を商売の家にしてはならない。」"

2章15-16節

"イエスは彼らに答えられた。「この神殿を壊してみなさい。あたしは、三日でそれをよみがえらせる。」"

2章19節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

2:13-4:1は よみがえりの命がテーマ

- 父の家である神殿の復活
- 役人の息子の復活
- 永遠のいのち

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

2:13-4:14 エデンの園の回復

- はじめの7日間 (創世記1章)
- 人が生まれる
- 主のことばを信じる
- 命の泉
- 命の実

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

3:16

"神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。"

ヨハネの福音書 3章16節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

3:16-21

"神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

御子を信じる者はさばかれない。信じない者はすでにさばかれている。神のひとり子の名を信じなかったからである。そのさばきとは、光が世に来ているのに、自分の行いが悪いために、人々が光よりも闇を愛したことである。悪を行う者はみな、光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光の方に来ない。しかし、真理を行う者は、その行いが神にあってなされたことが明らかになるように、光の方に来る。"

ヨハネの福音書 3章16-21節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

3:31-36 洗礼者ヨハネの証・・・

"上から来られる方は、すべてのものの上におられる。土から出る者は土に属し、土のことを話す。天から来られる方は、すべてのものの上におられる。この方は見たこと、聞いたことを証しされるが、だれもその証しを受け入れない。その証しを受け入れた者は、神が真実であると認める印を押したのである。神が遣わした方は、神のことばを語られる。神が御霊を限りなくお与えになるからである。父は御子を愛しておられ、その手にすべてをお与えになった。御子を信じる者は永遠のいのちを持っているが、御子に聞き従わない者はいのちを見ることなく、神の怒りがその上にとどまる。"

ヨハネの福音書 3章31-36節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

御父に遣わされた 御父を証しする

"イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。子は、父がしておられることを見て行かう以外には、自分から何も行かうことはできません。すべて父がなさることを、子も同様に行かうのです。」 5章19節

"まことに、まことに、あなたがたに言います。あたしのことを聞いて、あたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことがなく、死からいのちに移っています。" 5章24節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

ニコデモ：パリサイ人でユダヤ人の議員

"さて、パリサイ人の一人で、ニコデモという名の人があった。ユダヤ人の議員であった。この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられなければ、あなたがなさっているこのようなしるしは、だれも行おうことができません。」"

ヨハネの福音書 3章1-2節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

どうしてそのようなことがあり得るのか？

"イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」" 3章3節

"ニコデモは答えた。「どうして、そのようなことがあり得るのでしょうか。」

イエスは答えられた。「あなたはイスラエルの教師なのに、そのことが分からないのですか。」 3章9～10節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

証しているのは天から下ってきた人の子

"まことに、まことに、あなたに言います。あたしたちは知っていることを話し、見たことを証しているのに、あなたがたはあたしたちの証しを受け入れません。あたしはあなたがたに地上のことを話しましたが、あなたがたは信じません。それなら、天上のことを話して、どうして信じるのでしょうか。

だれも天に上った者はいません。しかし、天から下って来た者、人の子は別です。モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。" 3章11-15節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

モーセが書いたのは御子のこと

"あたしは、あたしの父の名によって来たのに、あなたがたはあたしを受け入れません。もしほかの人がその人自身の名で来れば、あなたがたはその人を受け入れます。"

"もしも、あなたがたがモーセを信じているのなら、あたしを信じたはずです。モーセが書いたのはあたしのことなのですから。しかし、モーセが書いたものをあなたがたが信じていないのなら、どうしてあたしのことばを信じるのでしょうか。"

5章43,46-47節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

信仰の父たちは都とよみがえりを待ち望んだ

"昔の人たちは、この信仰によって称賛されました。"

ヘブル人への手紙 11章2節

"堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都の設計者、また建設者は神です。"

ヘブル人への手紙 11章10節

"女たちは、死んだ身内の者たちをよみがえらせていただきました。また、ほかの人たちは、もっとすぐれたよみがえりを得るために、釈放されることを拒んで拷問を受けました。"

ヘブル人への手紙 11章35節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

御子によって世が"救われる"

"神が"御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が"救われる"ためである。" 3章17節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

御子は花婿として来られて花嫁を整える

"花嫁を迎えるのは花婿です。そばに立って花婿が語ることに耳を傾けている友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。ですから、私もその喜びに満ちあふれています。" 3章29節

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

永遠のいのちへの水が湧き出る

"そこにヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れから、その井戸の傍らに、ただ座っておられた。時はおおよそ第六の時であった。一人のサマリアの女が、水を汲みに来た。イエスは彼女に、「あたしに水を飲ませてください」と言われた。"

"しかし、あたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことがありません。あたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。" 4章6-7, 14節

福音書を読む (聖書人になりたい・シーズン7)

#24 御子を信じる者に永遠のいのち

みことばに生きる聖書人が
生まれ増えていきますように

チャンネル登録と高評価で応援お願いします